

ひきこもりに係る調査の方向性について

1 調査目的

若者特有の現象とされていた「ひきこもり」については、中高年層の増加や家族の高齢化などへの対応が必要となっており、都においても切れ目のないきめ細かな支援を行うため、新たに「東京都ひきこもりに係る支援協議会」（以下、「支援協議会」という。）を設置し、今後の支援の方向性について検討を開始している。本調査は、支援協議会における検討の資料とするため、相談・支援機関や連携・協力機関の支援等の状況を把握することを目的として実施する。

2 調査対象・内容

区分	調査対象	調査のねらい	調査項目
① 相談・支援機関向け調査 (ひきこもりに係る相談・支援の実施機関)	区市町村各窓口、保健所、社協、民間支援団体 等	当事者・家族の状況や、 <u>相談・支援機関の取組状況</u> (実施体制や内容、連携の現状、課題や必要と感じていること)などを把握する	検討中
② 連携・協力機関向け調査 (ひきこもりに係る相談・支援機関に繋いでいる機関等)	民生・児童委員 地域包括支援センター	委員活動や見守り・アウトリーチ支援等を通じて、 <u>当事者や家族を発見・把握等した場合の対応・連携の現状</u> や課題・必要と感じていることなどを把握する	

3 調査方法

調査受託業者が調査対象へ調査票を送付し、回収、集計、分析を行う。

4 スケジュール（案）

